

「想いをかたちに!!」ボランティア・市民活動の今とこれからを考える

ボランティア OSAKA

Vol.63
2011 Winter

特集

ボランティアは生活の一部
若手ボランティアが語る、
活動の継承と今後の可能性

厳しい社会情勢の中、仕事やアルバイトなどを優先し、自由な時間を取りにくい若者が増えているといいます。しかし、その一方で、ボランティアとして活躍する学生や社会人も多数存在します。子どもたちとのレクリエーションやまちの環境整備など、思い思いの活動に熱中する若いボランティアたち。彼らは何に魅力を感じ、活動に取り組んでいるのでしょうか。また活動の受け入れ側とボランティアを支援する側は、若者たちに何を期待しているのか。若者にとってのボランティア活動の今後について考えます。



大阪府市町村ボランティア連絡会(ボラ連)Vサイン

外に開かれたボランティア連絡会を目指して—大阪府市町村ボランティア連絡会研修交流会—

TOPIX 市民活動の今「住民参加型在宅福祉サービス」 NPO法人泉南ドリーム

TOPIX 行き場のない動物達と… NPO法人アニマルレフュージ関西

ボランティア活動保険 23年度改定のお知らせ

若手ボランティアが語る、
活動の継承と今後の可能性

[司会] 桃山学院大学ボランティア活動支援室 コーディネーター 脇坂 博史

「出席者」 障害者入所支援施設 三恵園 宮脇 真佐恵

大阪府市町村ボランティア連絡会 会長 井上 健太郎

ボランティアグループ egg（高倉修平、福居亜耶、森数樹、森夏奈、松岡洋平）

ボランティアグループ「ビスケット」（鈴木 雄一郎、宇野 紗由里、柴谷 祐貴子）

北河内ボランティアセンター ボランティア 岩本 誉弘

NPO 法人北河内ボランティアセンター コーディネーター 吉岡 香織

NPO 法人スマイルスタイルボランティア 松本 崇紀 (敬称略)

児童と関わる活動団体設立 社会的信用を得る大切さ実感

高倉 eggは池田市の児童館で料理や工作教室を主催したり、山歩きなどを楽しんでいます。eggの場合は、eggで初めてボランティア活動に触れた人もいれば、高校時代から地域の夏祭り行事を企画していた人などいろいろですね。共通するのは、「子ども好き」ということです。

す。子どもたちの集まり方が、料理の時は多いけれど、工作の時はもうひとつで、どうやつたまに工作にも関心を持つてもらえたかを考え中です。

口一で紹介されて、関わってい
るうちに活動の楽しさを実感ま
るようになりました。

脇坂 活動の楽しさって、例え
ばどんな感じ?

松本 私の場合は、仲間との開
わりが大きな魅力です。皆でわ
いわい話しながらゴミを拾つて

のか、一方活動の受け入れ側とボランティアを支援する側は若者たちに何を期待しているのか率直な意見をうかがい、若者にとってのボランティア活動の魅力と今後の発展について考えます。

錦木 ビスケットは岸和田市の中学生たちと一緒にキャンプやレクリエーションを行うサークルです。ビスケットに所属する前から何らかの活動をやっていましたが、多くのメンバーがよく、お膳立てされた活動よりも、興味あることを自由にやれる団体をつくるべく、ということで集まつたメンバーが立ち上げました。

柴谷 保護者の方いかに信頼関係を築けるかは大事ですね。レクリエーションに子どもを参加させることができプラスになると思ってもらえたのよう、まず保護者の興味を引く団体でないと。

います。ボランティア活動を経験したことのない若い人を対象に、知的障がいのある子どもたちと出かけたり、遊んだりするプランを立案しています。

現在、社会情勢の変化を
受け就職活動やアルバイトな
どで自由な時間が取りにくくい
学生が増えています。その中
で、ボランティア活動を続け

んでいるのか、率直な意見をきかがい、今後の活性化について考えてみたいと思います。

鎌木 最初のうちは学生バーだけだったので、いざ活動をしたくて施設に連絡しても何を目的にしている団体かなかなか理解してもらえない(大変が

A photograph of a woman with dark hair, wearing a grey top, sitting at a table. She is looking directly at the camera. On the table in front of her is a white plate with some food. There are other items on the table, including a water bottle and some papers. The background shows a room with other people and furniture.

す。私たちの場合は、今までに経験したことのないことを大学でやってみたいという思いがあり、eggに入りました。



いふと「この人と人とのつながりがあるからこそ、一人ではできない、まちの美化も実現できるんだなと実感します。でも、それは誰かのためにやっているわけではなくて、自分がやりたいから、自分がやっていて楽しいからやっているんですね。

宇野

その気持ち、わかります。

私もビスケットで活動しているのは、岸和田という地域が好きで、何かしたい気持ちがあります。だからです。実際に野外活動を

やってみると、集団行動の中で子どもたちはいろいろなものを吸収していく、その姿を見ながら自分も育っていく。お互いの成長が活動の醍醐味です。

脇坂

活動自体の魅力はもちろん、一緒に活動している人たちとの関わりもどれだけ楽しめるか

いうことが、活動のモチベーションを上げるポイントかな。

柴谷 ボランティア活動はやつてみたら楽しい。でも、興味を持っていても、「どこから一歩を踏み出せばいいのかわからない」ということがあります。

学生が多いんじゃないかなという気がします。

学業とアルバイトで時間に余裕がない人であれ、優先順位が変わることもあるかもしれません。

岩本 まさしく私が話したボランチュー

ルは、きっかけづくりのための企画です。障がいのある子

との遊びを通じて、「ボランティアって面白い」と感じてもらえるよう、活動未

経験の人たちへのアプローチを考えるのです。半年かけて企

画の内容を検討するのも、やりがいのある作業です。真剣に取り組んでいくと「どんなことにでも私を使ってください」という気持ちになっていきますよ(笑)。

受け入れ側、活動する側 それぞれに志がある

吉岡 私は北河内ボランティアセンターでボランティアコーディネーターとして、企画に参加している学生や社会人をまとめる立場ですが、岩本さんたち

学生からの意見が実現可能かどうかを考えて、うまく折衷案を生み出せるよう調整を図る役の難しさを痛感しますね。

脇坂 ボランティアを受け入れ側にもいろいろな思いがありますね。三恵園の宮脇さんはいかがでしょうか。

宮脇 三恵園は知的障がいの方の日常生活を支援する施設です。地域の人たちには入所施設のイメージがわきにくいようなので、趣味の活動で交流できる企

画も立てています。なぜ交流活動を行うかというと、知的障がいの人たちもいすれは施設ではなく、地域で生活できるように

見守る人が増えるだけでも、当事者は住みやすくなります。

脇坂 その点、今日集まっている皆さんはノーマライゼーションの視点で熱心に活動していて頼もしいですね。逆に、皆さんから受け入れ側に望むことは?

森数 eggの場合は児童館側の受け入れ体制がすばらしい、私たちが活動しやすいように配慮してくれて、メンバー募集のチラシも置かせてれます。児童館主催のイベントについても連絡網を回ってきて、興味ある時は参考させてもらっています。

高倉 時には児童館のイベントを手伝うためのマンパワーになっています。でも、活動休止してしまった

鈴木 ビスケットの場合は、受け入れ側というより、実は参加する子どもの数自体が減っているという問題があります。社会人になつて抜けるメンバーもいて去年は活動休止の案も出ました。

でも、活動休止してしまった

鈴木 ビスケットの場合は、受け入れ側といつて、実は参加する子どもの数自体が減っているという問題があります。社会人になつて抜けるメンバーもいて去年は活動休止の案も出ました。

でも、活動休止してしまった

鈴木 活動先ではなく公的機関への要望ですが、ミーティング

で会議室を借りる時など、もう少し利用しやすいシステムになつていればと思うことはありますね。市の社会福祉協議会が休みで、公民館に申込に行っても、「市社協登録団体なら社協の会議室を借りてください」と言わされたことがあるので、柔軟な対応を望みたいです。

「やりたい」思いがあれば道は切り開ける

鈴木 ビスケットの場合は、受け入れ側といつて、実は参加する子どもの数自体が減っているという問題があります。社会人になつて抜けるメンバーもいて去年は活動休止の案も出ました。

でも、活動休止してしまった



▲ボランティア活動を漢字一文字で表しました

やってみると、集団行動の中で子どもたちはいろいろなものを吸収していく、その姿を見ながら自分も育っていく。お互いの成長が活動の醍醐味です。

やつてみると、集団行動の中での受け入れ側、活動する側、それぞれに志がある

見守る人が増えるだけでも、当事者は住みやすくなります。

事者は住みやすくなります。

事者は住みやすくなります。

フなど何かの形で続けていきた
いですね。

吉岡 企画スタッフについて

は卒業するまでにきちんと後輩を育てる体制ができているんですよ。おかげでボランチュー
ルは17年も継続しています。

岩本 私は他にスペシャルオリ
ンピックスにも関わっているん

ですが、事務局のメンバーは教職に就いている人たちで、時間を見習うべきところがあり、人生のお手本になる先輩たちです。

松本 公務員志望なので、これから試験勉強で忙しくなります。でも、活動自体はできるだけ続けたいですね。活動は夜中ですが、参加することがいいストレス発散になります。

森数 社会人については確かに時間の制約はあるけれど、私の場合、週末はeggで活動する

ことが当たり前になっていますよ。ボランティア活動を生活から区別するのではなく、日常の延長線上でやっています。

井上 私は40代の今も、10代の頃

に始めた野外活動を続けています。まず「やりたい」という思いがあつたから、そのためにはどうするかを考えました。就職活動や試験

勉強などボランティア活動に時間を取りにくくなる理由はあるけれど、「だからできない」ではなく、「それでもやる」という意思を強く持った方が時間をやりくりする意識が働きますし、そういう発想にシフトしていくたら人生はより豊かになるんじゃないかな。

松岡 社会人になっても、自分の趣味は続けますよね？ 楽しいから趣味は続けるのと同じで、ボランティアも活動の中だけで楽しいイベントを起こせるかということだと思うんです。

他の人に声かけする場合も、どれだけ周りを引っ張っていけれる力がその団体にあるのかといふことだと思います。

脇坂 ボランティアコーディ

ネーターである私としては、ボランティア活動がその後のキャ

リアにつながっていくことを

これが望ましいと思いますね。

社会活動を通じたキャリア

アップのシステムをつくり、

もっと活動しやすい環境を整えたいという希望があります。ボ

ランティアとして地域の課題に

取り組みながら、人との出会い

を通して自分の器を広げてい

くそんな皆さんの成長を応援

できる仕組みづくりに力を注い

でいきたいと思います。

世代を超えたつながりが人生を豊かにする

桃山学院大学ボランティア活動支援室 コーディネーター 脇坂 博史さん

大学のボランティアセンターに来る学生には、いくつかのパターンがあります。ふらっと何気なく寄る人、関心のある情報を得て確認に来る人、既に何かの活動をしていて広報のために訪れる人、ボランティア活動による単位取得などを考えている人。その中でも、何気なくセンターに寄る学生が一番多く、その人たちを活動につなげていくことがボランティアセンターの役割です。実際に活動を始めたたら楽しくて夢中になるケースも多く、主体性が芽生えて、個人の可能性も開かれていきます。活動自体の意義や面白さもさることながら、そこで生まれる人との出会いにボランティア活動の魅力があります。

例えば大学ボランティアセンターには個々の活動団体は多数登録されていますが、地域とのつながりは弱い面があります。そこで地域のニーズを知る社会福祉協議会との協力体制を築くことで、多様な活動の場を学生に紹介することができます。学生も地域活動への参加を通じて社会で果てる役割を自覚するようになります。若い世代の思いをくみとる姿勢とともに、世代を超えた交流が、ボランティア活動を通して盛んになるようにしていきたいです。





▲パネラーの矢形氏、栗原氏
んからは「バリ

矢形さんは「V連の会員だけの交流ではなく、地域住民や他団体などV連としてもっと外部に活動をPRしていくことが求められています」と活動発信の重要性を話しました。

また、栗原さんは「バリエーション広報部会」
(大阪府市町村ボランティア連絡会)

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。

矢形さんは「V連の会員だけの交流ではなく、地域住民や他団体などV連としてもっと外部に活動をPRしていくことが求められています」と活動発信の重要性を話しました。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。



▲休憩時間に4連絡会がミニ体験コーナーを設置

外に開かれたボランティア連絡会を目指して —大阪府市町村ボランティア連絡会研修交流会—

大阪府市町村ボランティア連絡会(府V連)では、活動の担い手育成、他団体との連携、活動主体の多様化などボランティアを取り巻く課題について、各ブロックでの交流会や研修会等を通じて検討しています。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。

矢形さんは「V連のこれまでの取り組みと課題を振り返り、その後初代会長である矢形さん(元バリアフリー部会長)の栗原さん、現会長の井上さんとともにパネルディスカッションを行いました。



▲車いすのままでスムーズに乗車できます

市民活動の今

Close up! 住民参加型在宅福祉サービス

住民参加型在宅福祉サービスとは、利用者と提供者が会員制の仕組みをもつて非営利・有償で提供されるサービスで、制度の谷間にあらゆる地域住民のニーズに柔軟に対応する住民相互の助け合いを基盤とした市民活動です。

このコーナーでは、市民活動が多様化する中で、従来から先駆的な取組みを行ってきた「住民参加型在宅福祉サービス」を取材することで、これから市民活動のあり方を考えたいと思います。

利便性を第一にした 福祉有償運送サービス

泉南市 NPO法人 泉南ドリーム

NPO法人泉南ドリームは、障がい者を対象にした居宅介護、重度訪問介護などのサービスのほか、泉南市で最も早く、福祉有



▲理事長の祐代さん(左から2番目)と同法人メンバー

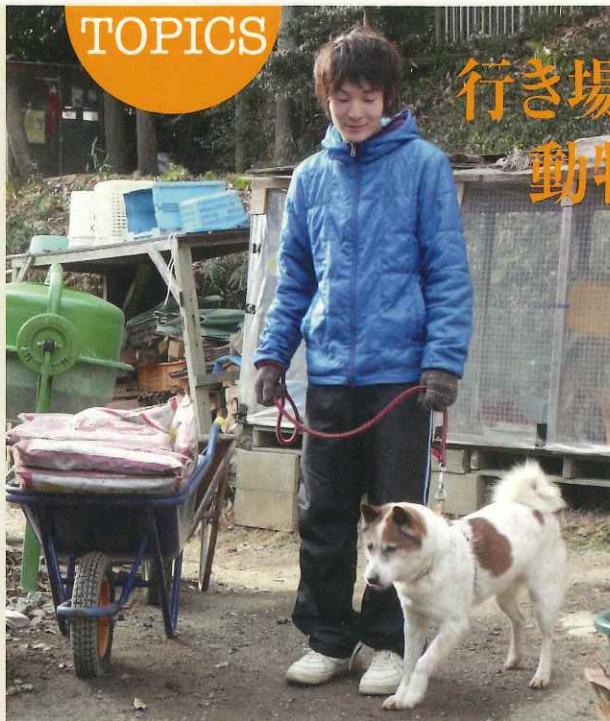
償運送サービスを提供してきました。ドライバーの数は、職員11名中7名で、全員がヘルパー取得者。車いすのまま乗り込める福

祉車両等を使用して、通院、通学などの日常的な外出や行楽、学習塾やショッピング、余暇活動などの趣味的な外出の手助けをしています。

運営の主眼は利用者の「利便性」。「利用者にとって必要であれば、できるだけニーズに応じています。基本運賃は設定されていますが、例えば、奈良や和歌山など県外に出かけ、羽根を伸ばしたい場合など、1日まるまる貸し切りで1万円という具合に柔軟に対応しています」と理事長の祐代さん。

また、利用者へのアンケート結果についても、過半数が「満足」という結果に甘んじず、「時間を長くして欲しい」「子どもの体格が大きくなったので男性のヘルパーさんがありがたい」など一人ひとりの声を丁寧に受け止め、サービスの内容に反映させています。

泉南ドリームでは、現在、障がい児に特化した休日のデイサービス事業を検討中です。「学童で障がい児を受け入れできる所がまだ少ない状況もあり、働きながら障がい児を育てる親御さんたちは、仕事の疲れを休める時があります。休みの日にデイサービスがあれば、少しでもゆっくりしていただけるのではないかと思います」。利用者のニーズをキャッチし、いち早く実現していく姿勢が、地域の信用を生んでいます。



行き場のない動物たちを保護し、動物を愛する里親へ引き渡す

NPO法人アニマルレフュージ関西

経済的な事情など やむを得ないケースが増加

NPO法人アニマルレフュージ関西(以下「アーク」)では、飼い主から手放され、行き場を失くした動物たちをシェルターで一時的に保護し、次の飼い主に引き渡す活動を行っています。

飼い主が動物を手放す理由についてインフォメーション・コーディネーターの岸田栄さんに伺いました。

「無責任な飼い主に捨てられる場合もありますが、最近では、経済的な事情や急な転勤などで、ペットが飼える家に住み続けられなくなったり、一人暮らしで高齢の飼い主が入院・死亡されたなど、やむを得ない

ボランティアに託される 動物とのスキンシップ

アークのシェルターは、大阪府能勢町の豊かな自然の中にあり、現在、犬180頭、猫150匹のほか、銀狐、ウサギ、アヒルが暮らしています。日常業務は、病気の治療や予防のほか、専門知識の必要な活動を職員が担い、ボランティアは散歩やスキンシップ、犬舎や猫のトイレ掃除などを担当しています。

「家庭と違い、ここでは職員が十分にスキンシップをする時間はありません。だからこそ、ボランティアには動物と思い切り遊んで欲しいですね」と岸田さん。

犬猫は一頭ずつ体や性格が違う

事情で飼えなくなったら相談されるケースが半数近くに上ります」

保護された動物の里親探しは、動

物たちの将来かかかった大切な活動です。アークにいるときより幸せな暮らしができるか、動物を「家族の一員」として受け入れてくれる里親かを見極めるため、里親希望者を書類と直接により厳しく審査。住まいや環境、飼育経験、家族構成や在宅時間、動物の世話にかけられる時間などを細かくたずね、一定の条件を満たした家庭にのみ譲渡しています。また、アークでは譲渡までにワクチンを打ち、不妊去勢手術を施し、犬に迷ってもみつけられるようにマイクロチップを埋め込んでいます。

だけではなく、育てられた環境によっても、人への接し方が異なります。「飼い主から暴力を受けた動物は人間を恐がりますが、逆に、世話を放棄されていた場合は、人間に触れられたいので、驚くほど甘えてくることもありますよ」

まずは、シェルターを見学に来てください

現在ボランティアは、レギュラーが約60人。週1～月1回とさまざまなペースで活動しています。2日以上連続して参加する人のために、宿舎(自炊)が用意されています。

2回目の活動という井上英城さんは、「犬たちと触れ合うのは、とにかく楽しいですね。将来は、動物を助ける仕事がしたいので、ここでいろいろなことを学びつつ、自分で何かできることを考えながら、活動を続けたいです」。

シェルターでの活動以外には、里親会(譲渡会)の運営のほか、寄付の募集や動物カレンダーなどグッズの販売があります。

「一番つらいのは、スペースには限りがあり、受け入れを断らざるを得ないとき」と話す岸田さん。アークは国内に数の広いシェルターを持つ団体ですが、全国にはシェルターの数が少なく、次々と生まれてくる命に対応できません。

「学校などへ出張レクチャーにいっても、シェルターの存在 자체を

■大阪府内の主な動物愛護団体

- NPO法人アニマルレフュージ関西
TEL:072-737-0712(1885)
FAX:072-737-1886
- 認定NPO法人日本アニマルトラスト
TEL:072-737-1707(1811)
- NPO法人 動物愛護市民団体 J C D L
TEL:06-6871-0017 / 080-5333-9031
FAX:06-6871-4499



知らない人が多い。ですから、興味本位でかまわないのでも、一度見学に来ていただき、ここで見たことや感じたことを誰かに伝えてもらうだけでもありがたいです」。

情報コーナー

◆茨木市

第18回 ボランティアの集い みんな集まれ!ボランティア in いばらぎ

市内ボランティア・福祉関係団体等が集まり、福祉体験コーナーや模擬店、バザー、ステージイベント、パネル展示等を開催します。ぜひ皆さんもご参加ください。お手伝いしてくださるボランティアも、只今募集中です。

◆日時／平成23年4月29日(祝)午前10時30分～午後3時

◆場所／茨木市役所前中央公園北グランド

◆問合せ／茨木市社会福祉協議会 ボランティアセンター ☎072(627)0086

◆吹田市

第13回 吹田ボランティアフェスティバル2011 ～誰だって輝きつづける愛がある～

手作りのイベントということで、みんなで知恵を絞り、今年もさらにたくさんの方にボランティアについて興味をもっていただけるように、「気軽にボランティアを体験できる楽しいブース」をテーマに開催します。

◆日時／平成23年5月29日(日)午前10時～午後3時(雨天決行)

◆場所／吹田市役所 駐車場

◆問合せ／吹田ボランティアフェスティバル実行委員会(吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター内) ☎06(6339)1254 FAX06(6339)1202

◆岸和田市

第75回 ボランティアサロン開催!

何かを始めたい人、ボランティアについて聞きたい人は、お気軽に越しください。サロン後は、個別相談もお受けいたします。

◆日時／平成23年4月16日(土)午後2時～4時

◆場所／岸和田市立総合福祉センター 2階会議室

◆問合せ／岸和田市ボランティアセンター

☎072(430)3366

◆泉南市

第5回 泉南市ボランティアフェスティバル ～ひろげよう ふれあいの「和」～

泉南市内で活躍しているボランティア・市民活動を多くの人に知ってもらい、活動している人やグループ同士のつながりの「和」を広げましょう。来て・見て・触って・体験してください。ステージ・展示即売・景品が当たるスタンプラリー・抽選会・飲食など、こどもから大人まで楽しめる交流イベントです。

◆日時／平成23年3月13日(日)午前10時～午後3時

◆場所／泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)

◆問合せ／泉南市社会福祉協議会 ☎072(482)1027

◆大東市

第5回 大東市ボランティアフェスティバル & 第8回 大東市子育てフェスティバル

ボランティアフェスティバルでは、体験コーナー・スタンプラリー・足湯・お抹茶コーナー・模擬店などと今回の目玉として、屋上のキッズコーナーに長~いミニSLを設置します。また子育てフェスティバルでは、人形劇団「クラルテ」による『たまごまごまご』の上演やゴスペルクワイア「Anz♪」の出演、各種遊び、委員活動の紹介などを行います。

◆日時／平成23年3月13日(日)午前10時～午後3時

◆場所／大東市立総合福祉センター

◆問合せ／大東市社会福祉協議会 ☎072(874)1082

◆全労済

2011年 「地域貢献助成事業」募集

豊かで安心できる社会が形成されるため、助け合いの輪を広げ積極的に地域社会へ貢献し、環境活動・子育て・子育ち支援活動を応援します。

◆対象活動／①地域の自然環境を守る ②環境型地域社会をつくる ③地域の自然や環境の大切さを学ぶ ④子どもたちの豊かな遊び場や交流の場をつくるなど、地域住民が活動に関わりコミュニティーの形成・発展・再生を継続的に取り組める活動

◆対象団体／設立後1年以上の活動実績があるNPO、NGO、ボランティア団体

◆助成内容／助成総額:2000万円(予定)。1団体の助成上限額:30万円

◆対象期間／平成23年7月20日～平成24年7月19日に実施する活動

◆応募方法／詳細・申請書類等は、全労済ホームページ、メール、FAXにて

◆応募締切／平成23年4月4日(火)消印有効

◆問合せ・応募先／全労済 経営企画部内地域貢献助成事業事務局(担当:佐藤)

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

☎03(3299)0161 FAX03(5371)2685

<http://www.zenrosai.coop/eco>

メール 90_eco@zenrosai.coop

◆福祉医療機構

平成23年度 「社会福祉振興助成事業」募集

高齢者や障害者が自立した生活を送れるよう、また子どもたちの健やかに安心して成長できるよう必要な支援等を行っています。

◆対象活動／①福祉活動・社会参加促進支援活動 ②地域連携活動支援 ③全国的・広域的ネットワーク活動支援

◆対象団体／社会福祉法人、医療法人、特例民法法人、一般社団法人、公益社団法人、NPO等

◆助成内容／福祉活動支援:上限300万円、社会参加促進:上限設定なし、地域連携活動支援:上限700万円、広域的ネットワーク活動支援:上限設定なし

◆対象期間／平成24年3月31日までに完了する事業

◆応募方法／詳細・申請書類等は、当機構ホームページ、FAXにて

◆応募締切／平成23年4月15日必着

◆問合せ・応募先／独立行政法人 福祉医療機構助成事業部支援課 〒105-8486 港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス9階

☎03(3438)9945 FAX03(3438)0218

<http://hp.wam.go.jp/>

ボランティアセンターでは、窓口や電話でボランティアに関する相談を受け付けています。
お近くのボランティアセンターへ行ってみよう!



●大阪府内のボランティアセンター一覧

大阪府ボランティア・市民活動センター 〒542-0065 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内 TEL: 06-6762-9631 FAX: 06-6762-9679

| 市町村名 | 所在地 | 電話 | FAX | 市町村名 | 所在地 | 電話 | FAX |
|------------|---|--------------|--------------|------------|---|--------------|--------------|
| 北 摂 | | | | | | | |
| 池 田 市 | 〒563-0025 池田市城南3-1-40 池田市保健福祉総合センター1階 | 072-753-8858 | 072-753-3444 | 河 内 長 野 市 | 〒586-0041 河内長野市大師町26-1 | 0721-65-0133 | 0721-65-0143 |
| 茨 木 市 | 〒567-0888 茨木市駅前4-7-55 茨木市福祉文化会館4階 | 072-627-0086 | 072-627-0086 | 太 子 町 | 〒583-0991 太子町大字春日963-1 総合福祉センター内 | 0721-98-1311 | 0721-98-2111 |
| 島 本 町 | 〒618-0022 島本町桜井3-4-1 ふれあいセンター内 | 075-962-5417 | 075-962-6325 | 千 早 赤 鮮 村 | 〒585-0041 千早赤阪村大字水分195-1 保健センター内2階 | 0721-72-0294 | 0721-70-2037 |
| 吹 田 市 | 〒564-0072 吹田市出町口19-2 吹田市立総合福祉会館内 | 06-6339-1210 | 06-6339-1202 | 富 田 林 市 | 〒584-0037 富田林市宮甲田町9-9 富田林市総合福祉会館内 | 0721-25-8200 | 0721-25-8230 |
| 摂 津 市 | 〒566-8555 摂津市三島1-1-1 摂津市役所西別館1階 | 06-6318-1128 | 06-6383-9102 | 羽 鬼 野 市 | 〒583-8585 羽曳野市警田4-1-1 羽曳野市立総合福祉センター内 | 072-958-2315 | 072-958-3853 |
| 高 橋 市 | 〒569-0804 高槻市緑屋町3-1-303 グリーンプラザかづみ3号館3階 | 072-683-2200 | 072-683-2209 | 東 大 阪 市 | 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-2-13 東大阪市立総合福祉センター内 | 06-6789-5550 | 06-6789-2924 |
| 豊 中 市 | 〒560-0023 豊中市岡上町2-1-15 豊中すこやかプラザ内 | 06-6848-1000 | 06-6848-1005 | 藤 井 市 | 〒583-0035 藤井市寺内1-2-8 ふれあいセンター内 | 072-938-8220 | 072-938-8221 |
| 豊 能 町 | 〒563-0101 豊能町吉川1187 町立保健福祉総合施設豊悠プラザ内 | 072-738-5370 | 072-738-0524 | 松 原 市 | 〒580-0043 松原市阿保1-1-1 松原市役所専別館内 | 072-339-0741 | 072-335-0294 |
| 能 势 町 | 〒563-0341 能勢町宿野114 | 072-734-0770 | 072-734-2623 | 八 尾 市 | 〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 サポートやお内 | 072-925-1045 | 072-925-1161 |
| 箕 面 市 | 〒562-0036 箕面市船場西1-11-35 箕面市総合保健福祉センター分館 | 072-749-1535 | 072-727-3590 | 泉 州 | | | |
| 河 北 | | | | | | | |
| 交 野 市 | 〒576-0034 交野市天野が原町5-5-1 交野市立保健福祉総合センター内 | 072-894-3737 | 072-894-3737 | 泉 大 津 市 | 〒595-0026 泉大津市東雲町9-15 泉大津市立総合福祉センター内 | 0725-23-1393 | 0725-23-1394 |
| 門 真 市 | 〒571-0064 門真市御堂町14-1 门真市保健福祉センター内 | 06-6902-6453 | 06-6904-1456 | 和 泉 市 | 〒594-0041 和泉市いぶ野5-1-7 和泉中央駅南側歩道テック・アムモール前 | 0725-57-0294 | 0725-57-3294 |
| 四 條 暇 市 | 〒575-0043 四條畷市北出町3-1 | 072-878-1210 | 072-878-6888 | 泉 佐 野 市 | 〒598-0007 泉佐野市上町1-2-9 泉佐野市立福祉センター内 | 072-464-2259 | 072-462-5400 |
| 大 東 市 | 〒574-0037 大東市新町13-13 大東市立総合福祉センター内 | 072-874-1082 | 072-874-1828 | 岸 和 田 市 | 〒596-0076 岸和田市野町1-5-5 岸和田市立総合福祉センター内 | 072-430-3366 | 072-430-3367 |
| 寝 屋 川 市 | 〒572-8533 寝屋川市池田西町28-22 寝屋川市立総合センター内 | 072-838-0400 | 072-838-0166 | 熊 取 町 | 〒590-0451 熊取町野田1-1-8 熊取ふれあいセンター内 | 072-452-6001 | 072-452-2658 |
| 枚 方 市 | 〒573-1191 枚方市新町2-1-35 枚方市立総合福祉会館「ボーラーらかた内 | 072-841-0181 | 072-841-0182 | 泉 南 市 | 〒590-0521 泉南市梅津4-1-8 泉南市総合福祉センター内 | 072-483-0294 | 072-483-0353 |
| 守 口 市 | 〒570-0083 守口市京阪本通2-13-1 さつきホールもくぢ内 | 06-6992-2715 | 06-6993-0134 | 高 石 市 | 〒592-0011 高石市梅津4-1-7 守口市役所専別館1階 | 072-265-7600 | 072-261-9375 |
| 河 南 | | | | | | | |
| 大阪狭山市 | 〒589-0021 大阪狭山市今熊1-85 大阪狭山市福祉センター内 | 072-367-6601 | 072-366-7407 | 田 戸 町 | 〒598-0091 田尻町嘉祥寺883-1 | 072-466-5015 | 072-466-8841 |
| 柏 原 市 | 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内 | 072-972-6760 | 072-972-6761 | 忠 岡 町 | 〒595-0812 忠岡町忠岡中2-16-25 | 0725-31-1666 | 0725-31-3555 |
| 河 南 町 | 〒585-0014 河南町大字白木1371 河南町保健福祉センター内 | 0721-93-6299 | 0721-93-5299 | 阪 南 市 | 〒599-0201 阪南市尾崎町35-1 阪南市役所内 | 072-472-3333 | 072-471-7900 |
| | | | | 岬 町 | 〒599-0303 岬町深日3238-24 | 072-492-5700 | 072-492-5701 |

参考…大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター TEL: 06-6765-4041 / 堺市社会福祉協議会 ボランティア情報センター TEL: 072-232-5420

ボランティア総合補償制度の改定について

平成23年度改定内容は下記の通りです。保険の詳細については下記及びパンフレットをご参照ください。

ボランティア活動保険

- Bプラン 死亡・後遺障害、入院、通院の保険金額の変更
- Cプラン 死亡・後遺障害、通院の保険金額の変更
- 加入保険料⇒変更なし

ボランティア・市民活動行事保険

- 保険金額⇒変更なし
- 加入保険料⇒II型(宿泊ありの行事)の保険料
- については保険料率の変更に伴い、変更となっております。加入時にはご注意ください。

非営利・有償活動団体保険

- Aプラン・Bプラン 死亡・後遺障害保険金額の変更
- 加入保険料⇒変更なし
- 移送中事故傷害保険 特に変更ありません。

23年度「ボランティア総合補償制度」のごあんない

ボランティア活動中の事故に備えて ボランティア活動保険

| 補償内容 | | 日本国内においてボランティアがボランティア活動中に、①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」です。 | |
|-------|-------------|--|------------|
| 傷害部分 | B プラン | C プラン | |
| | 死亡・後遺障害保険金額 | 1,500 万円 | 900 万円 |
| | 入院保険金日額 | 8,000 円 | 6,000 円 |
| | 通院保険金日額 | 4,000 円 | 3,000 円 |
| | 手術保険金 | 9・18・36 万円 | 6・12・24 万円 |
| | 特定感染症 | 補償します | 補償します |
| | 天災 | × | 補償します |
| 賠償部分 | 対人 | 5 億円限度額 (免責なし) | |
| | 対物 | 対人・対物共通 | |
| 年間保険料 | | ボランティア 1 名あたり | |
| | | 500 円 | 700 円 |
| 加入対象 | | 社会福祉協議会に登録、届出または委嘱等の手続きを経ており、活動内容を把握しているボランティア団体 | |
| 対象活動 | | ・無償であること(交通費、食事代など除く) ・自助活動ではないこと | |
| 保険期間 | | 平成 23 年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から) | |

各種NPO団体等の活動に 非営利・有償活動団体保険

就業中のみの危険担保・準契約式契約特約(一部付保)付帯普通傷害保険/賠償責任保険(施設所有(管理)者賠償責任保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

| 補償内容 | | ボランティア保険の対象外で、有償活動を行う団体が活動中に、①スタッフが偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②利用者などの身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」がセットされています。 | |
|-------|-------------|---|---------|
| 傷害部分 | A プラン | B プラン | |
| | 死亡・後遺障害保険金額 | 382 万円 | 751 万円 |
| | 入院保険金日額 | 3,000 円 | |
| | 通院保険金日額 | 1,500 万円 | |
| | 手術保険金 | 3・6・12 万円 | |
| | 対人 | 1 名 1 億円限度(免責金額なし) 1 事故 2 億円限度(免責金額なし) | |
| | 対物 | 1 事故 500 万円限度(免責金額なし) 受託物のみ 1 事故・保険期間中 500 万円限度 | |
| 年間保険料 | | 4,900 円 | 6,300 円 |
| 加入対象 | | 社会福祉協議会や加入要件(☆)を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ。なお、活動実施主体が営利団体の場合は加入できません。 ☆社会福祉協議会の会員団体および社会福祉協議会に登録された団体・グループ | |
| 保険期間 | | 平成 23 年 4 月 1 日から翌年 4 月 1 日まで (中途加入者は加入手続き完了した日の翌月 15 日から) | |

各種イベント参加者の補償に ボランティア・市民活動行事保険

傷害保険(行事参加者の傷害危険担保特約付傷害保険(I型)・国内旅行傷害保険(II型)/賠償責任保険(施設所有(管理)者賠償責任保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

| 補償内容 | | 日本国内において「ボランティアアグレーブや NPO 法人などの市民団体」や「社会福祉協議会の会員団体」が主催者となる行事活動中の、ボランティアスタッフや参加者のケガおよび主催者が賠償責任を負った場合に備えて加入いただくものです。※対象となる行事はパンフレットをご覧ください。 | | | |
|------|-------------|---|--|------------|------|
| 傷害部分 | | | I 型(宿泊なし) | II 型(宿泊あり) | |
| | 死亡・後遺障害保険金額 | | 500 万円 | | |
| | 入院保険金日額 | | 3,000 円 | | |
| | 通院保険金日額 | | 2,000 円 | | |
| | 手術保険金 | | 3・6・12 万円 | | |
| | 対人 | | 1 名 1 億円限度(免責金額なし) 1 事故 2 億円限度(免責金額なし) | | |
| | 対物 | | 1 事故 500 万円限度(免責金額なし) 受託物のみ 1 事故・保険期間中 500 万円限度 | | |
| 保険料 | | I 型 | II 型 | | |
| 加入対象 | A 区分 | 30 円 | 1泊2日 | 227 円 | 4泊5日 |
| | B 区分 | 134 円 | 2泊3日 | 280 円 | 5泊6日 |
| | C 区分 | 262 円 | 3泊4日 | 288 円 | 6泊7日 |
| 保険期間 | | 行事期間中 (開催前日までに受付が必要) | | | |

移送サービス活動に 移送中事故傷害保険

タイプ I : 交通乗用具搭乗中の傷害危険担保特約付普通傷害保険

| 補償内容 | | 日本国内で行われる移送サービス実施に伴い、自動車に搭乗している間の急激・偶然・外来の事故により身体に傷害を被った場合に、サービス実施主体の責任の有無に関係なく補償する「普通傷害保険」です。 | | | | | |
|-------|-------------|---|-----------|--|--|--|--|
| 傷害部分 | | | I 型(車両特定) | | | | |
| | 死亡・後遺障害保険金額 | | 226.0 万円 | | | | |
| | 入院保険金日額 | | 3,000 円 | | | | |
| | 通院保険金日額 | | 2,000 円 | | | | |
| | 手術保険金 | | 3・6・12 万円 | | | | |
| | 対人 | | | | | | |
| | 対物 | | | | | | |
| 年間保険料 | | 2,000 円 (乗車定員 1 名) | | | | | |
| 加入対象 | | 社会福祉協議会や加入要件(☆)を満たした、高齢者・障害者等に対する移送サービスを実施する団体。 ☆社会福祉協議会の会員団体および社会福祉協議会に登録された非営利の団体・グループ。活動実施主体が営利団体の場合は加入できません。 | | | | | |
| 保険期間 | | 平成 23 年 4 月 1 日から翌年 4 月 1 日まで (中途加入者は加入手続き完了した日の翌月 15 日から) | | | | | |

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくは各市町村社協に備え付けの各パンフレットをご覧ください。なお、上記の内容は平成23年4月1日から平成24年3月31日までのものです。

三井住友海上火災保険株式会社

関西企業営業第三部 公務開発室 T540-8677 大阪市中央区北浜 4-3-1

TEL.06-6233-1536 FAX.06-6220-3098

ホームページ www.ms-ins.com

各種損害保険・生命保険取扱 (株)島本保険事務所

T541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

大阪センタービル2階(伊藤忠ビル)

TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686